
2014年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

I. 事業環境

II. 2014年7月期第2四半期決算概況

III. 2014年7月期通期業績見通し

IV. 中期経営計画ならびに

経営戦略の主な取組み状況

V. 参考資料

事業環境

- ・生産金額は、高水準が続く
- ・生産台数は、大幅に増加

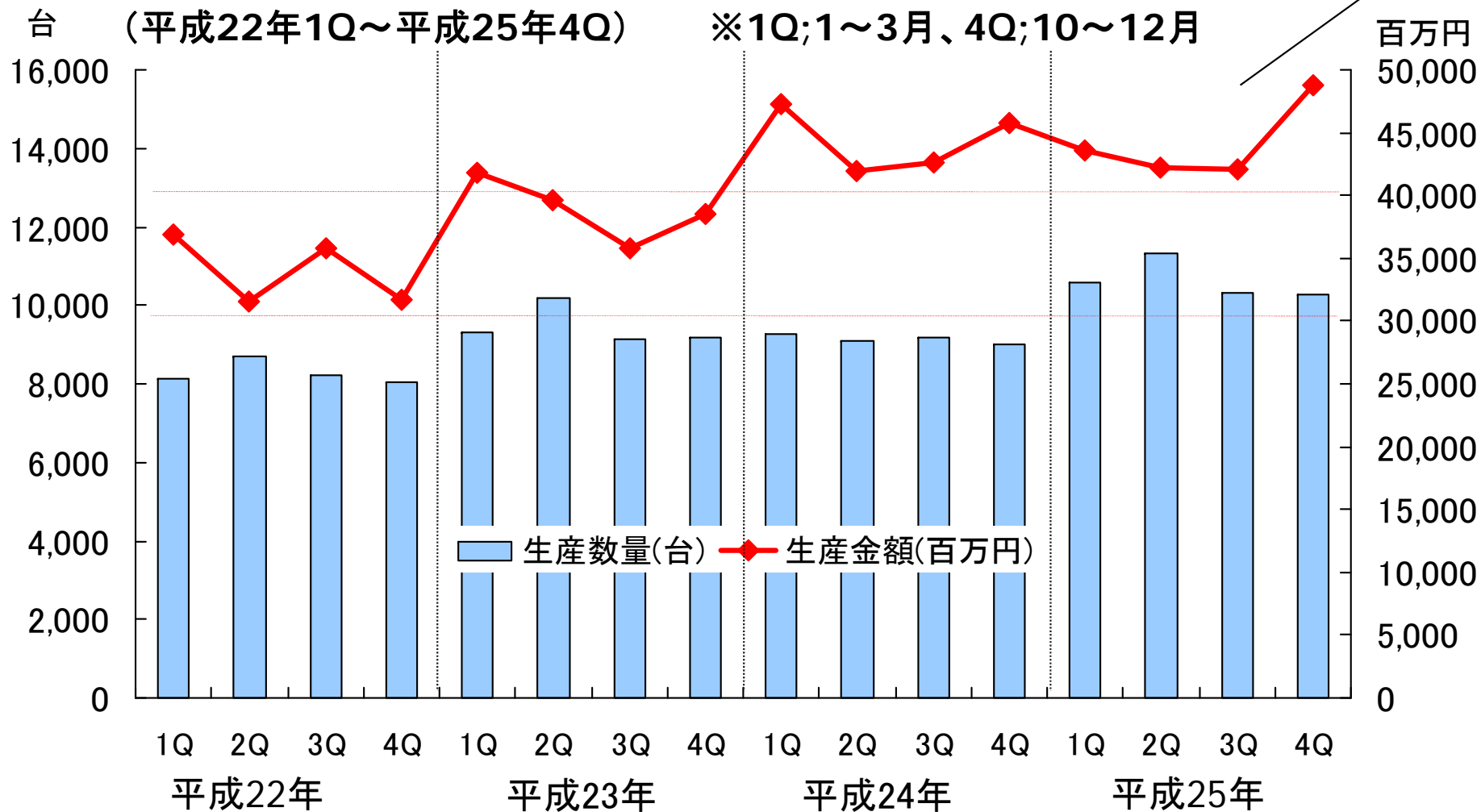
平成25年計
 生産金額
 前年比0.5%減
 生産台数
 前年比16.2%増

経産省 生産動態統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」

(平成22年1Q～平成25年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



事業環境と現状認識

＜包装機械業界＞

- 主要ユーザーの食品業界の設備投資需要は堅調に推移
輸出も堅調に推移している
- 業界全体の平成25年度(H25.4～H26.3)の生産高は、前年度から増加し
4,000億円前後の見通し ※(一社)日本包装機械工業会 生産高統計
- 「産業競争力強化法」(H26.1.20施行)の『生産性向上設備投資促進税制』により、
需要拡大が期待される

＜当社の動向＞

- 大型案件の受注実績が増加したことから、機械受注高は、半期で過去最高となる。
機械受注残高も、過去最高の水準。
- 上期売上分(第1Q,第2Q)の需要が想定より落ち込み、売上高は計画を下回る。
⇒第3四半期以降は、売上高の増加が見込まれる。
- 海外市場向けは、ペットフード向けの実績が増加したことから、
機械受注高は、前年同期を大幅に上回る。
売上高は、前年同期を上回る。

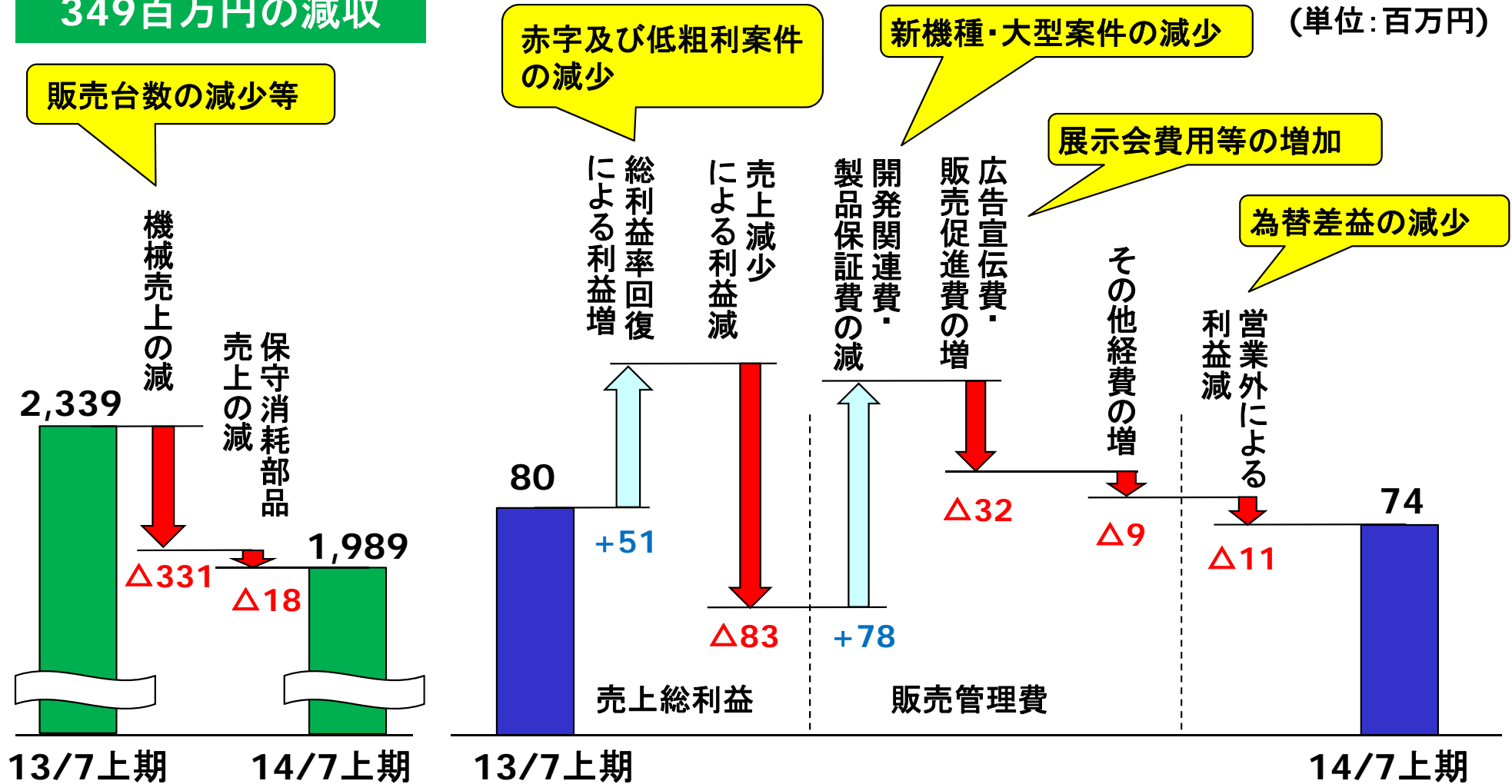
II. 2014年7月期 第2四半期決算概況

2014年7月期 第2四半期決算のポイント

売上高
349百万円の減収

経常利益増減要因(前年同期比) 5百万円の減益

(単位:百万円)



期初予想比; 150百万円減収、15百万円減益

売上時期が第3Qにずれこむ

2014年7月期第2四半期累計 決算概要

(単位:百万円、%)

| | 2013年7月期 第2四半期累計 | | 2014年7月期 第2四半期累計 | | 前年同期比 | | 2014年7月期 第2四半期累計計画 | | |
|--------|---------------------|-------|---------------------|-------|-------|-------|-----------------------|------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 率 | 金額 | 計画比 | 率 |
| 売上高 | 2,339 | 100.0 | 1,989 | 100.0 | △349 | △15.0 | 2,140 | △150 | △7.0 |
| 売上総利益 | 559 | 23.9 | 528 | 26.5 | △31 | △17.9 | 577 | △49 | △8.5 |
| 営業利益 | 66 | 2.8 | 72 | 3.6 | +5 | +8.5 | 90 | △17 | △19.7 |
| 経常利益 | 80 | 3.4 | 74 | 3.7 | △5 | △7.2 | 90 | △15 | △17.4 |
| 四半期純利益 | 56 | 2.4 | 52 | 2.6 | △3 | △6.4 | 54 | △1 | △2.8 |

減収・減益

- 給袋自動包装機の販売台数が減少したことから、売上高は前年同期比15.0%減収。
- 売上総利益は、売上高の減少により、前年同期比31百万円減少。
売上総利益率は、赤字及び低粗利案件の減少により、前年同期比2.6ポイント改善。
- 販管費は、開発関連費及び製品保証費等の減少により、前年同期比37百万円減少。
- 経常利益は、為替差益の減少等により、前年同期比5百万円減益。
- 四半期純利益は、計画を僅かに下回り、前年同期比3百万円減益。

品目別売上内訳

(単位:百万円、%)

| | 2013年7月期 2Q累計 | 2014年7月期 2Q累計 | 前年同期比増減 | | 2014年7月期 2Q累計計画 |
|-----------|------------------|------------------|---------|--------|--------------------|
| | | | 金額 | 率 | |
| 給袋自動包装機 | 1,479 | 787 | △691 | △46.8 | 1,093 |
| 製袋自動包装機 | 125 | 377 | +252 | +201.1 | 343 |
| 包装関連機器等 | 255 | 364 | +108 | +42.2 | 296 |
| 保守消耗部品その他 | 479 | 460 | △18 | △3.9 | 407 |
| 合計 | 2,339 | 1,989 | △349 | △15.0 | 2,140 |

注)給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

前年同期比：△349百万円、△15.0%

主力の給袋自動包装機が大幅な減少。

- ・給袋自動包装機： △691百万円・・・高価格機種の販売台数が減少
- ・製袋自動包装機： +252百万円・・・販売台数が増加
- ・包装関連機器等： +108百万円・・・高額包装システムが増加
- ・保守消耗部品その他： △18百万円・・・保守案件が減少

機械売上
△331

- ・機械売上高 計画比 △203百万円・・・給袋自動包装機の減少
- ・保守消耗部品 計画比 +53百万円・・・高額案件の増加

四半期売上高

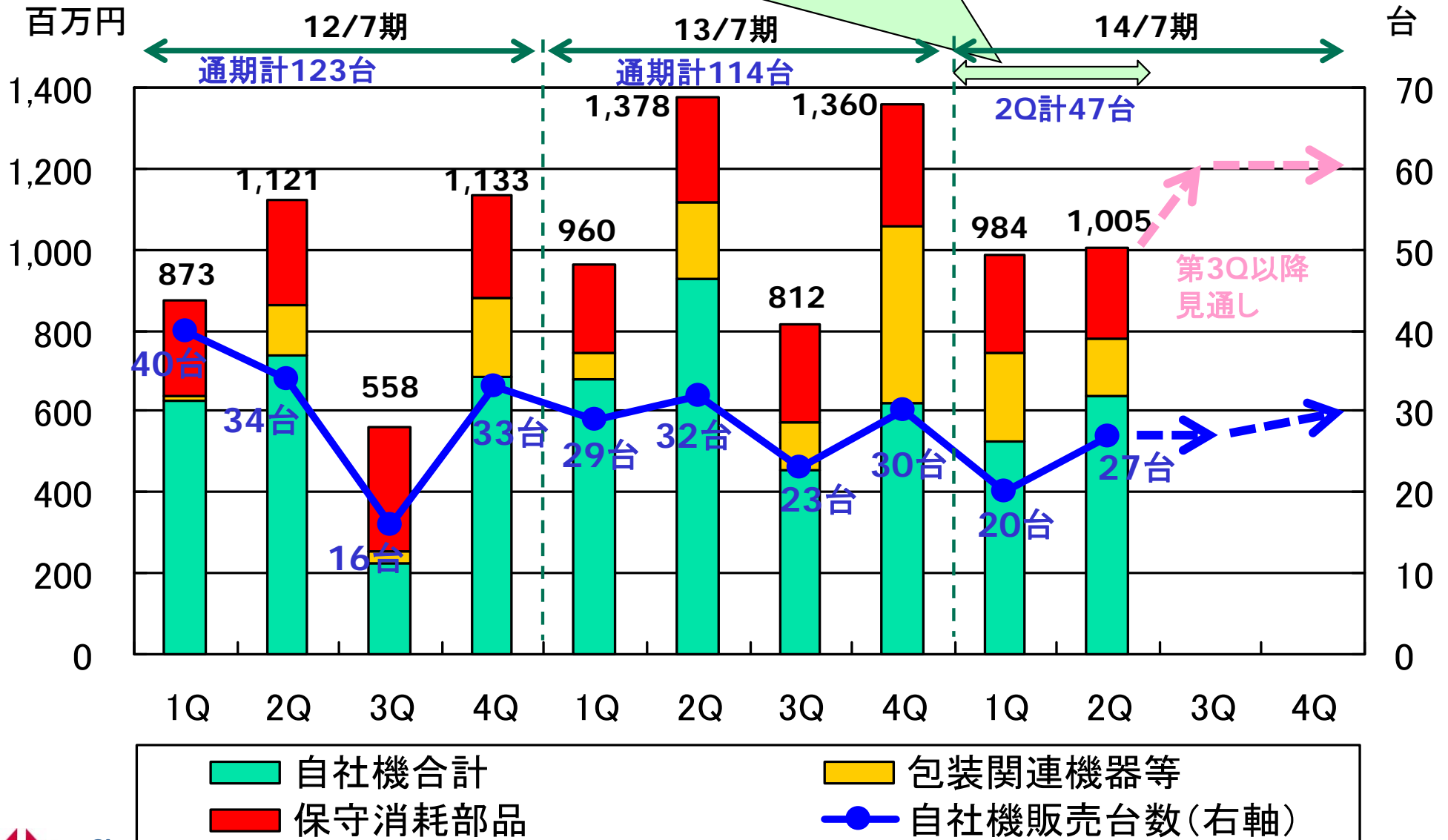
大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比△14台

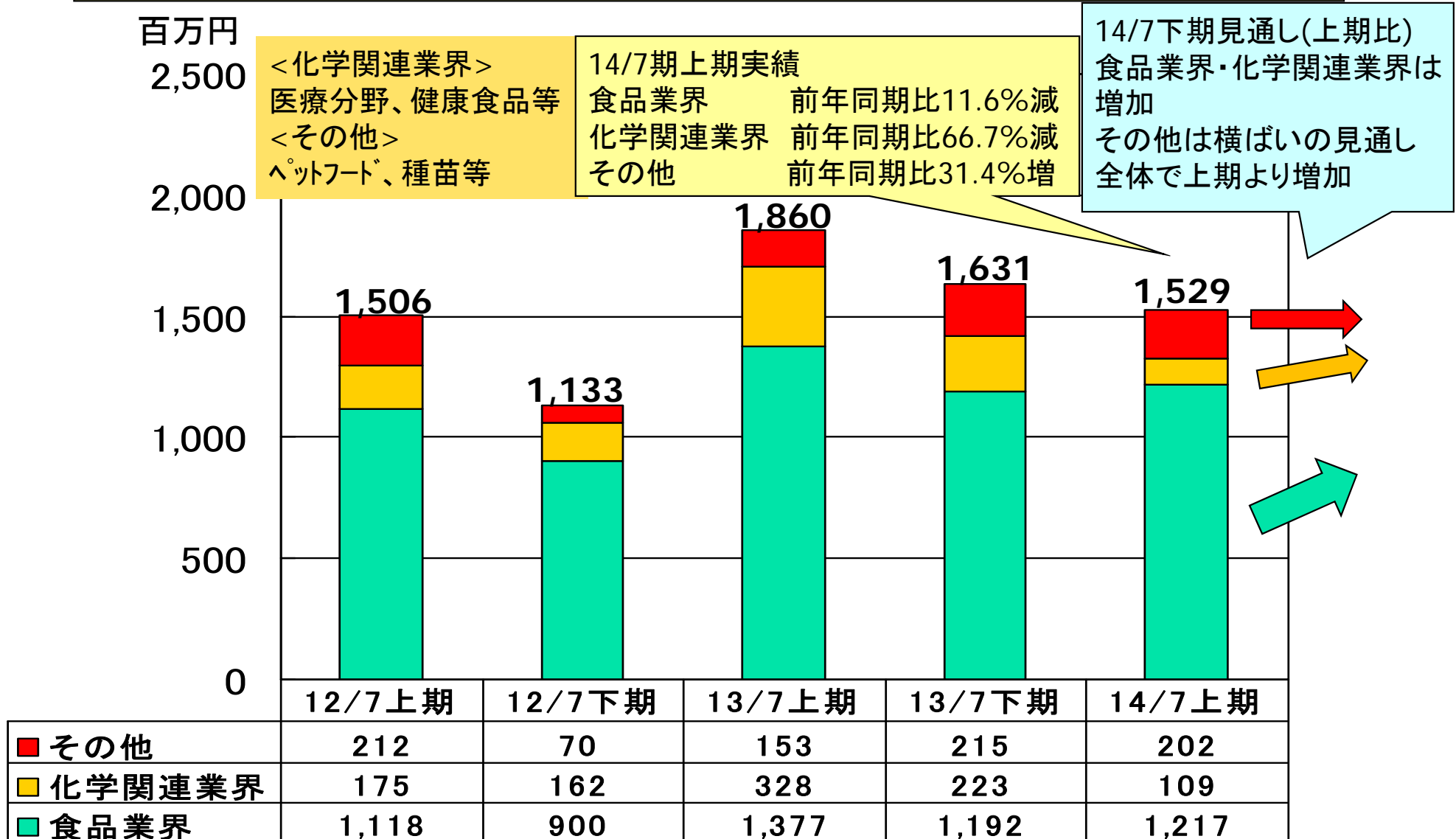
自社機売上高 前年同期比△439百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



エンドユーザー業種別売上高

食品業界・化学関連業界の減少により、機械売上高は前年同期比17.8%減



国内/海外市場別売上高

(エンユーザー市場)

14/7期上期実績

国内市場 前期同期比 Δ 342百万円

海外市場 前期同期比 +11百万円

14/7下期(上期比)

・国内市場

増加の見通し

・海外市場

増加の見通し

百万円

2,500

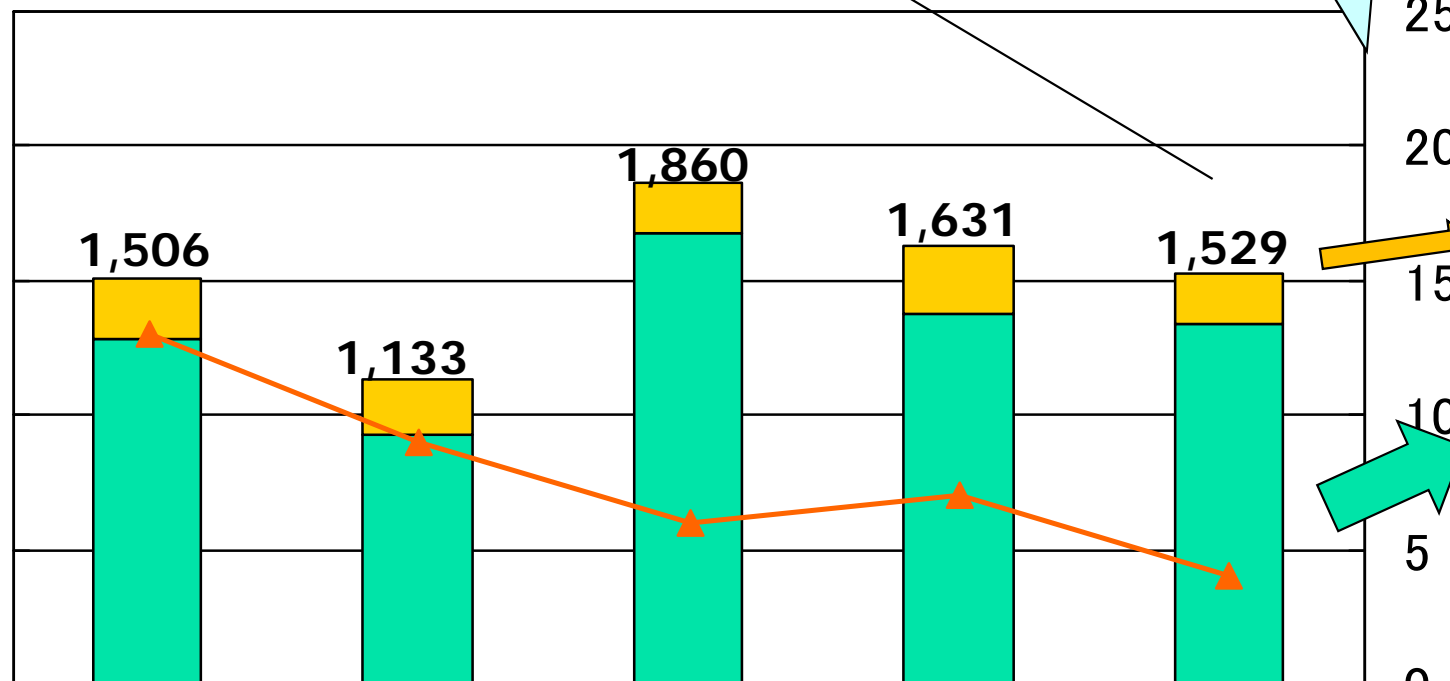
2,000

1,500

1,000

500

0



台

25

20

15

10

5

0

12/7上期

12/7下期

13/7上期

13/7下期

14/7上期

| | | | | | |
|----------|-------|-----|-------|-------|-------|
| ■ 海外市場 | 223 | 207 | 180 | 257 | 191 |
| ■ 国内市場 | 1,284 | 925 | 1,679 | 1,373 | 1,337 |
| ▲ 海外向け台数 | 13 | 9 | 6 | 7 | 4 |

(自社機)

海外市場向けの売上高

(エンドユーザー地域別)

百万円

<アジア市場>
東南アジア市場向けが中心
・日系企業、現地企業

<北米・南米、欧州市場>
ドライペットフード向けが中心

14/7期上期実績

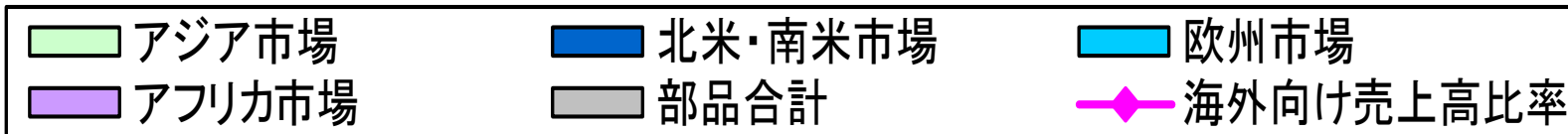
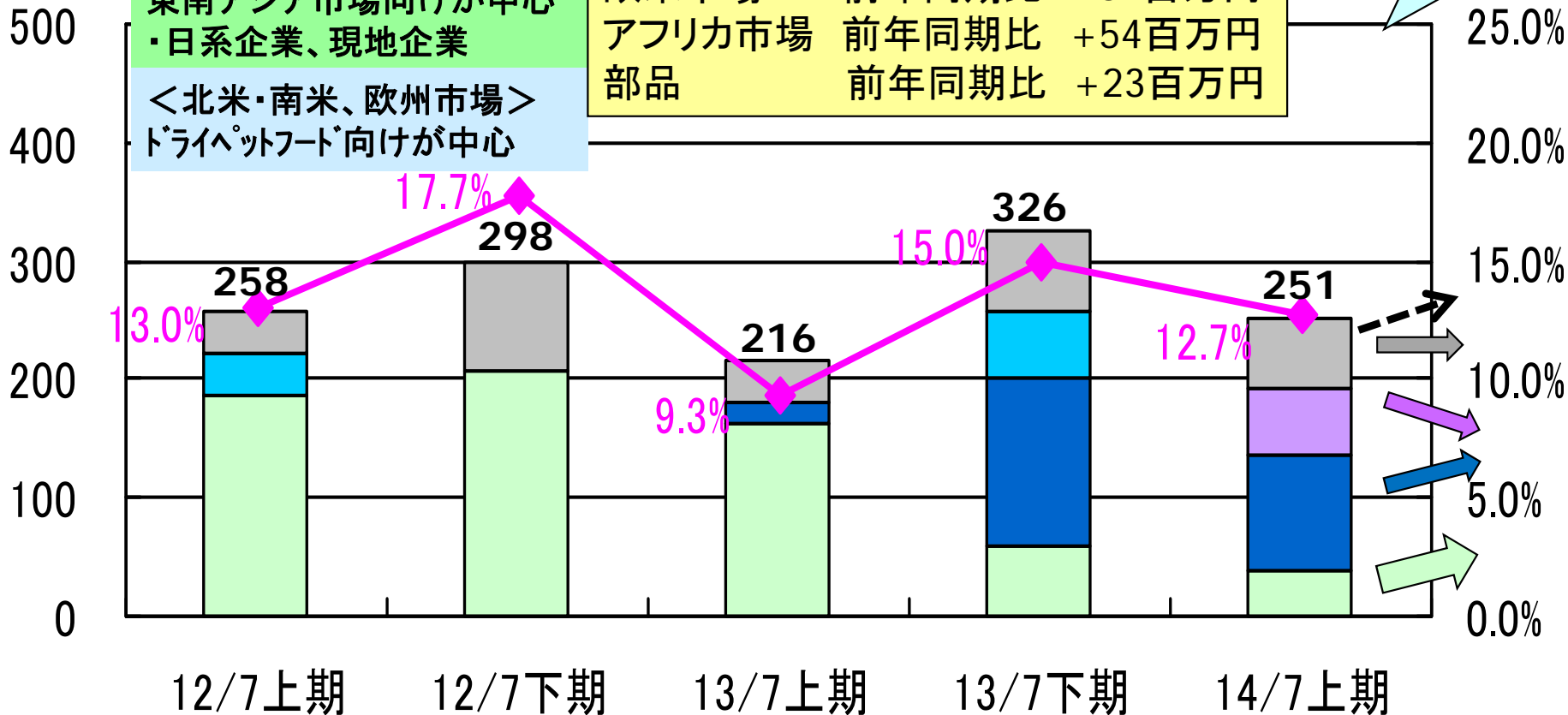
アジア市場 前年同期比 Δ 126百万円

欧米市場 前年同期比 +82百万円

アフリカ市場 前年同期比 +54百万円

部品 前年同期比 +23百万円

14/7下期(上期比)
アジア、欧米は増加、
アフリカは減少の
見通し
全体として増加

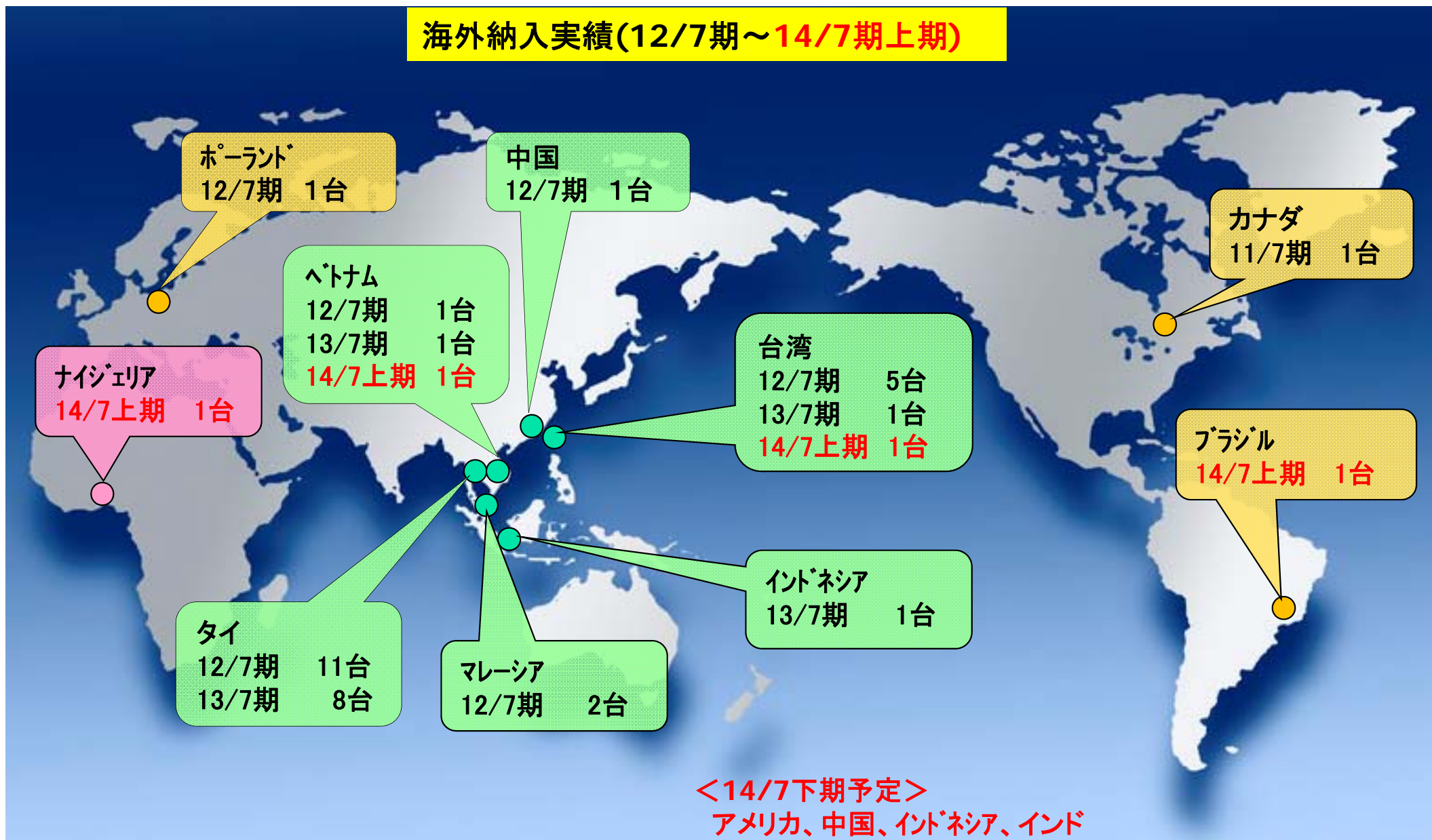


※機械売上高;エンドユーザー地域別

海外市場向け 国別実績

※自社機台数

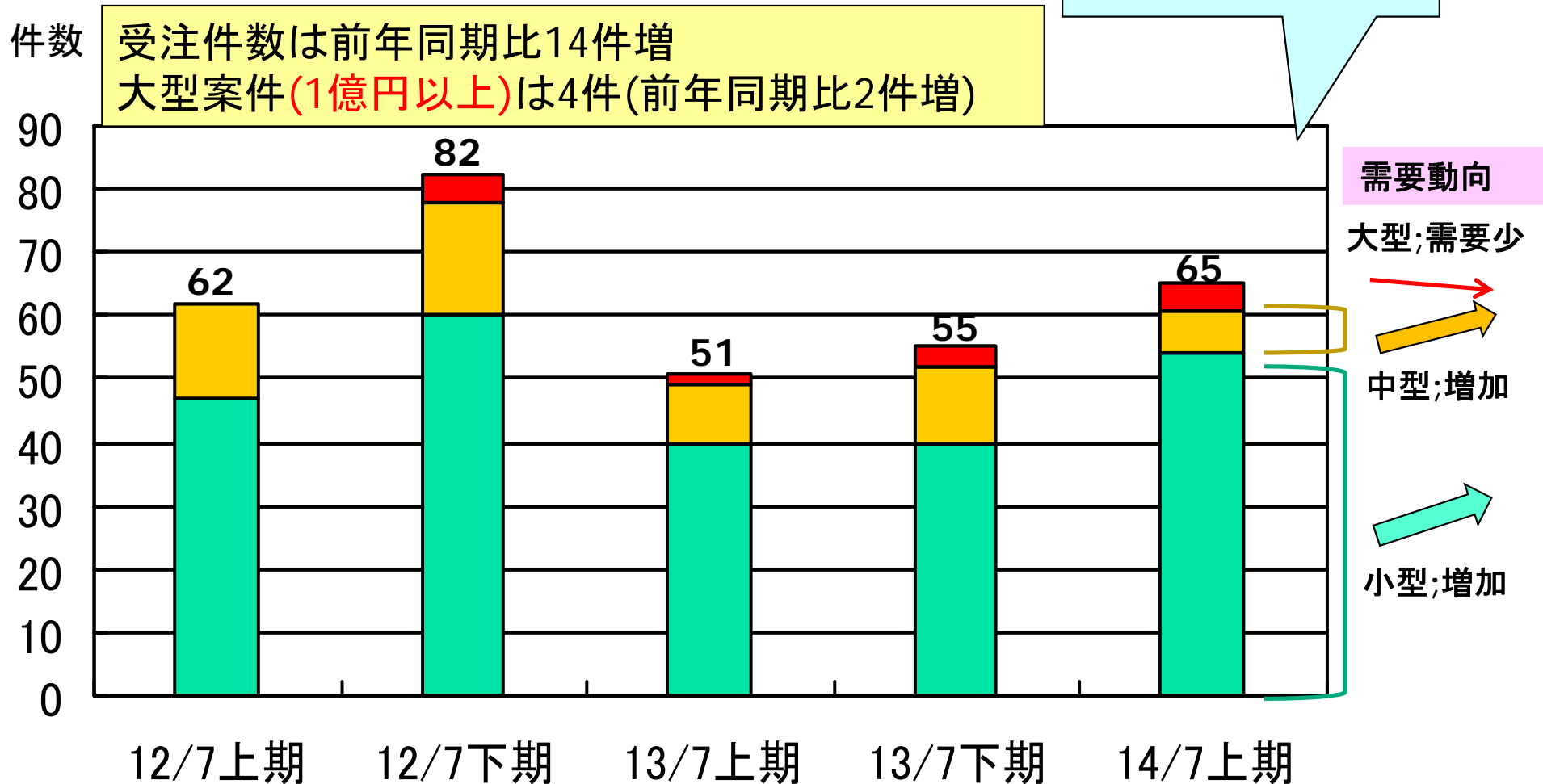
海外納入実績(12/7期～14/7期上期)



<14/7下期予定>
アメリカ、中国、インドネシア、インド

機械の受注件数

<14/7下期計画>
中小型案件の受注増加
を目指す



1件当たりの
受注金額の層別

■ 30百万円未満

■ 30百万円-1億円未満

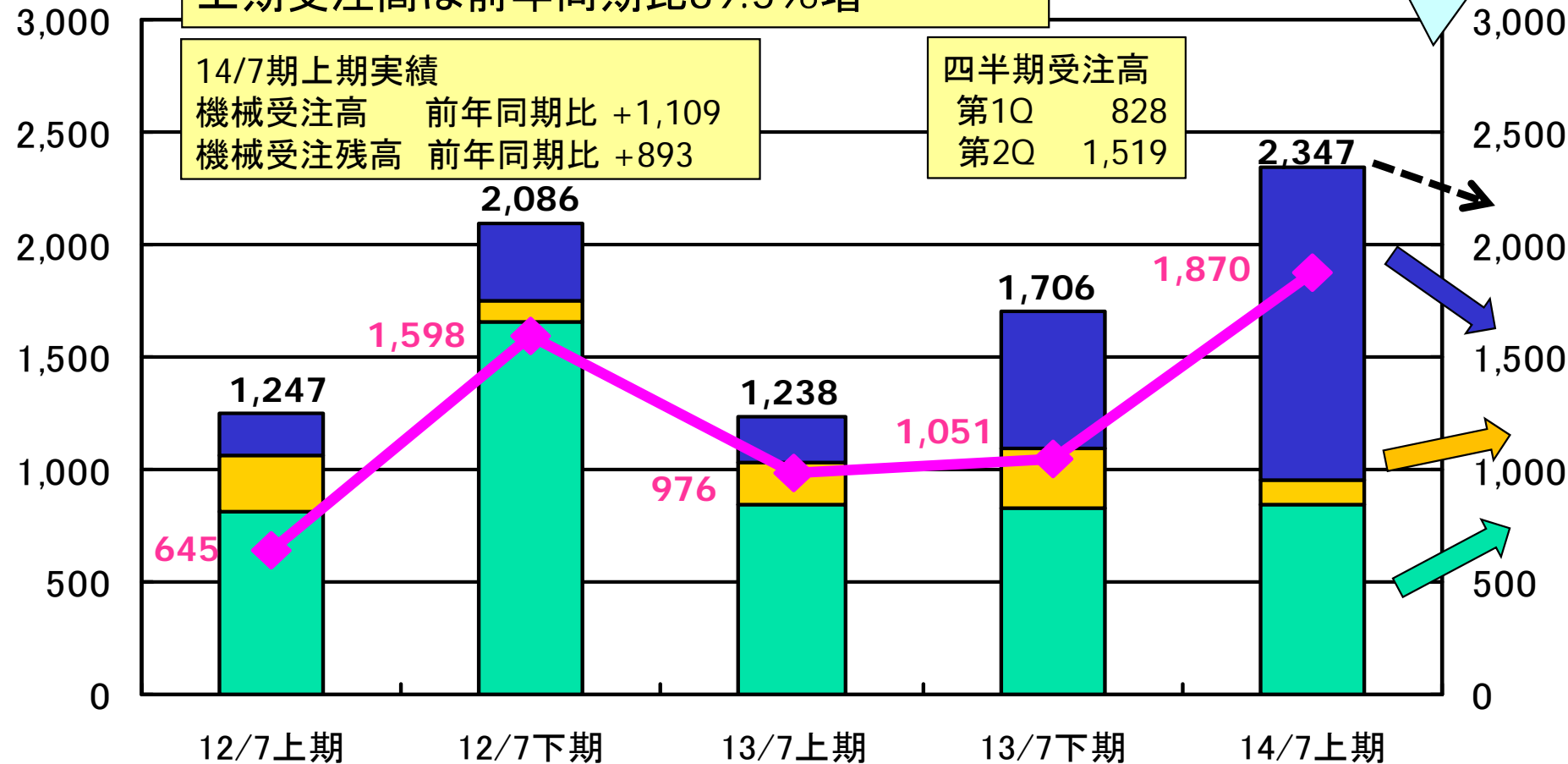
■ 1億円以上

機械の受注動向

＜14/7下期計画＞
 大型案件の反動減で、
 上期からは減少の見込み
 給袋自動包装機の増加を目指す

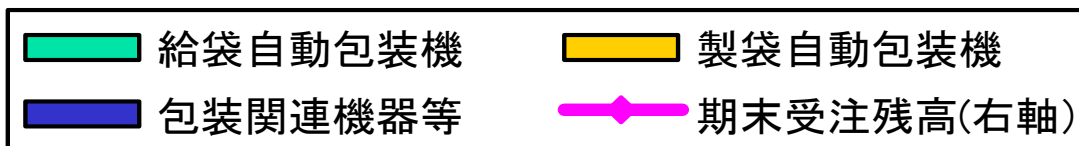
百万円

大型包装システムの受注が増加したことから、
 上期受注高は前年同期比89.5%増



14/7期上期実績
 機械受注高 前年同期比 +1,109
 機械受注残高 前年同期比 +893

四半期受注高
 第1Q 828
 第2Q 1,519

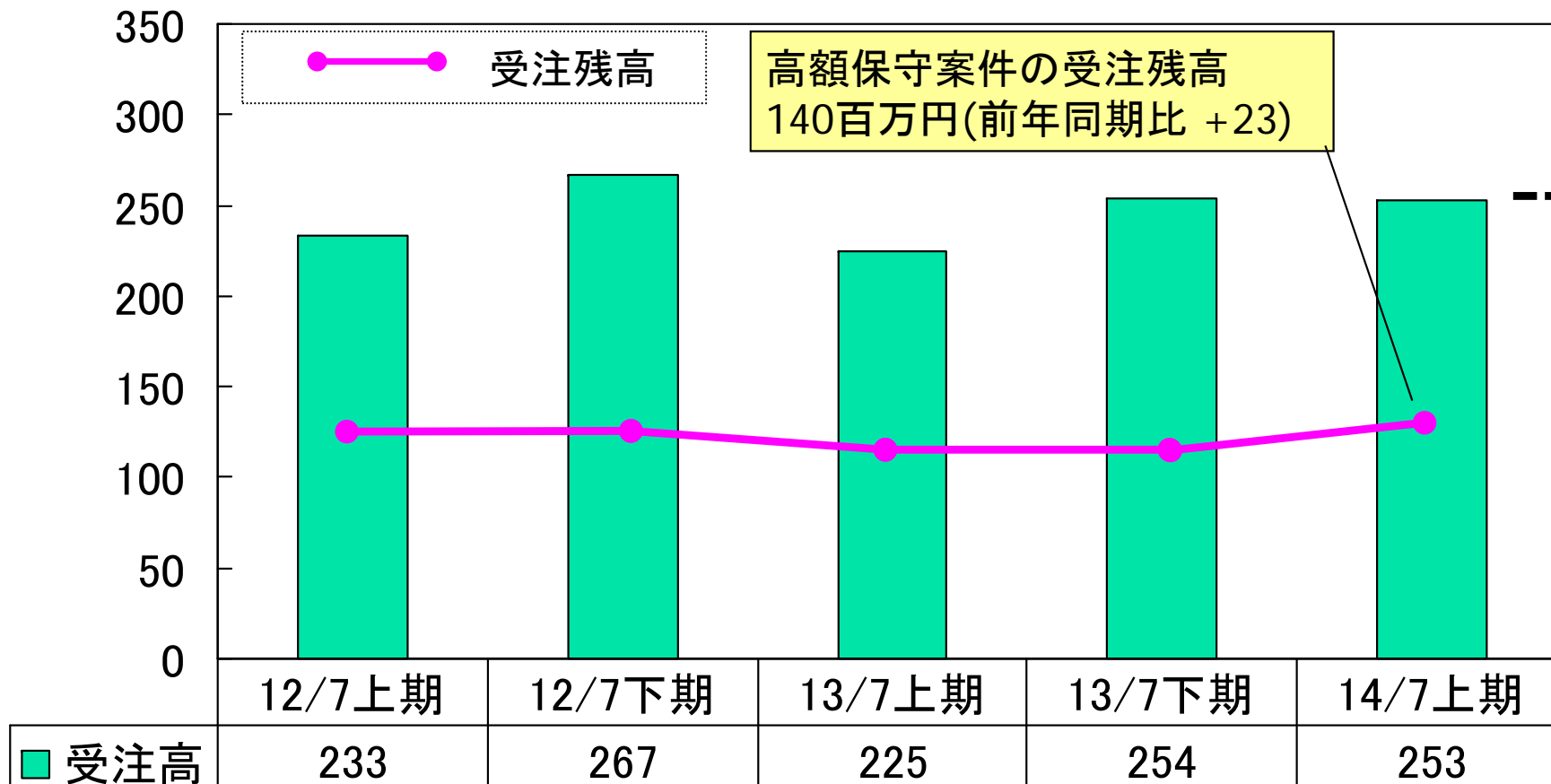


高額保守案件の受注高推移

高額保守案件: 百万円以上 / 件の保守・改造

百万円

14/7下期見通し
上期比横ばいの
見通し



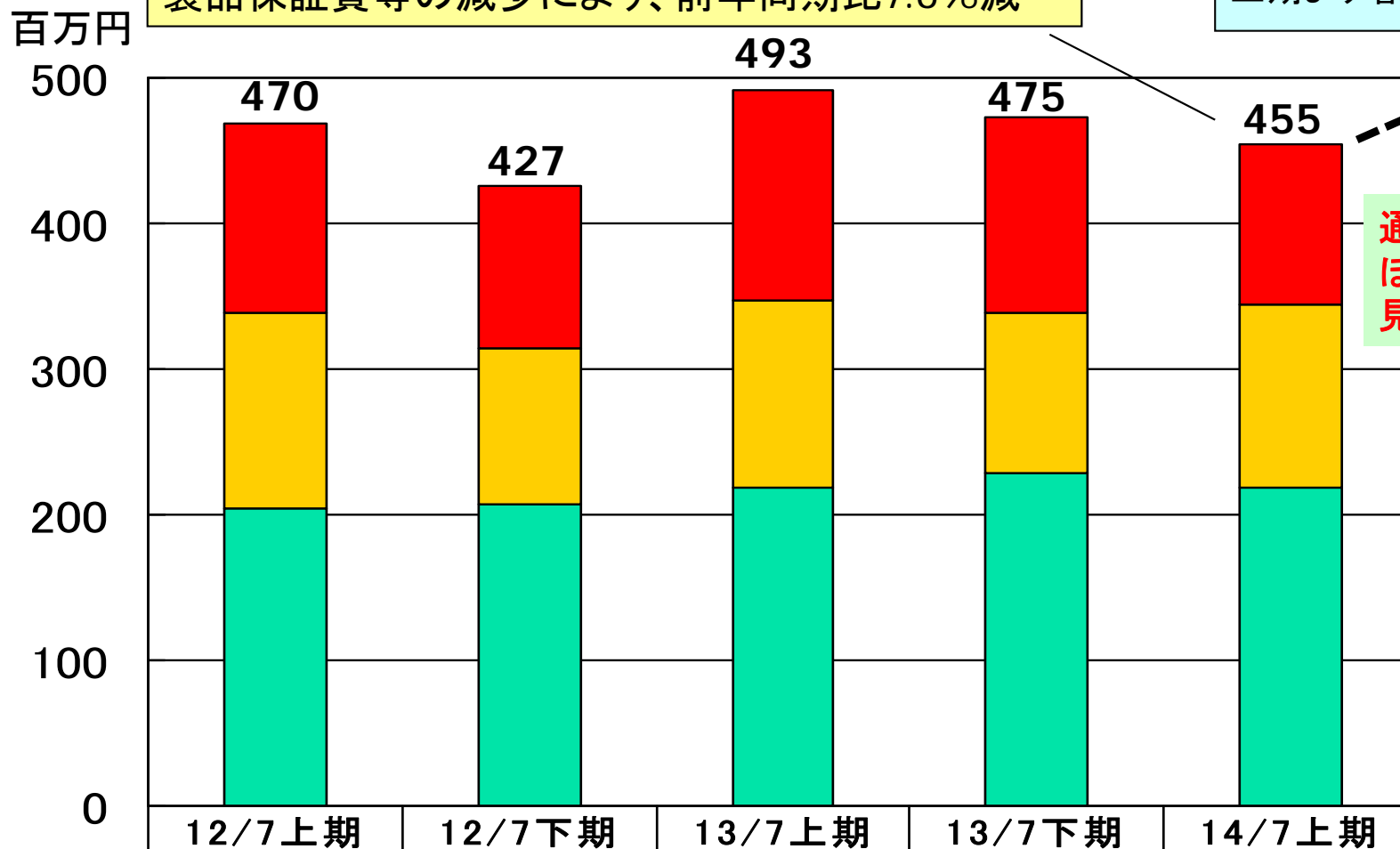
注) 印字機・検査装置等の仕入機器の費用も含む

仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

販売費及び一般管理費

14/7下期計画
研究開発費等の増加で、
前年下期より増加見込み
上期より増加

製品保証費等の減少により、前年同期比7.6%減



通期で前期と
ほぼ同等の
見込み

| | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ■ その他 | 130 | 112 | 145 | 135 | 109 |
| ■ 戦略経費 | 134 | 107 | 129 | 109 | 127 |
| ■ 人件費 | 204 | 207 | 218 | 229 | 218 |

(注)戦略経費:広告宣伝費、減価償却費、販売促進費、開発関連費、求人費、業務委託費等の合計

Ⅲ. 2014年7月期 通期業績見通し

2014年7月期通期業績見通し

業績動向を踏まえ、
下期計画を一部修正

| 単位:百万円 | 期初計画 | 修正計画 | 差異 | ※通期の売上高・営業利益は修正無し |
|-------------------|-------|-------|------|---------------------|
| 売上高 | | | | |
| 上期(1Q-2Q)実績 | 2,140 | 1,989 | △150 | |
| 下期(3Q-4Q) | 2,260 | 2,410 | 150 | 上期分繰越 |
| 通期 | 4,400 | 4,400 | 0 | 前期比△113(2.5%減) |
| 売上総利益 | | | | |
| 上期(1Q-2Q)実績 | 577 | 528 | △49 | 売上高減少と総利益率の低下 |
| 下期(3Q-4Q) | 624 | 634 | 10 | 売上高計画変更に伴う修正 |
| 通期 | 1,201 | 1,162 | △39 | 総利益率 期初計画比 △0.9ポイント |
| 販売費及び一般管理費 | | | | |
| 上期(1Q-2Q)実績 | 487 | 455 | △31 | 予算執行の抑制、経費削減 |
| 下期(3Q-4Q) | 519 | 511 | △8 | 経費削減 |
| 通期 | 1,006 | 967 | △39 | |
| 営業利益 | | | | |
| 上期(1Q-2Q)実績 | 90 | 72 | △17 | |
| 下期(3Q-4Q) | 105 | 123 | 17 | |
| 通期 | 195 | 195 | 0 | 前期比+77(65.5%増) |

2014年7月期業績予想

(単位:百万円、%)

| | 2013年7月期 | | 2014年7月期 | | 前期比 | |
|-------|----------|-------|----------|-------|------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 率 |
| 売上高 | 4,513 | 100.0 | 4,400 | 100.0 | △113 | △2.5 |
| 売上総利益 | 1,086 | 24.1 | 1,162 | 26.4 | +76 | +7.0 |
| 営業利益 | 117 | 2.6 | 195 | 4.4 | +77 | +65.5 |
| 経常利益 | 135 | 3.0 | 200 | 4.5 | +64 | +47.4 |
| 当期純利益 | 91 | 2.0 | 120 | 2.7 | +28 | +30.8 |

減収・増益

- 売上高は前期比2.5%減の44億円を見込む
下期取組み: 大型案件の納入と海外向け売上高の増加
- 総利益率は、前期比2.3ポイント改善し26.4%
下期取組み: 高粗利益機種の販売台数の増加
- 販管費は、展示会費用が増加するものの、製品保証費などの減少により、前期とほぼ同等。
- 営業利益率は前期比1.8ポイント改善し4.4%
- 当期純利益は、前期比28百万円増の120百万円

2014年7月期品目別売上高予想

(単位:百万円、%)

| | 13/7上期 | | 13/7下期 | | 14/7上期 | | 14/7下期 (予想) | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|----------------|-------|
| | | 売上比 | | 売上比 | | 売上比 | | 売上比 |
| 給袋自動包装機 | 1,479 | 63.2 | 948 | 43.6 | 787 | 35.6 | 962 | 40.0 |
| 製袋自動包装機 | 125 | 5.4 | 127 | 5.9 | 377 | 19.0 | 112 | 4.7 |
| 包装関連機器等 | 255 | 10.9 | 555 | 25.6 | 364 | 18.3 | 885 | 36.7 |
| 保守消耗部品その他 | 479 | 20.5 | 541 | 24.9 | 460 | 23.1 | 449 | 18.6 |
| 合計 | 2,339 | 100.0 | 2,173 | 100.0 | 1,989 | 100.0 | 2,410 | 100.0 |

注)給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

品目別売上高通期見通し

前期比：△113百万円、△2.5%

機械売上高は横ばい、保守消耗部品その他が減収。

- 給袋自動包装機:1,750(前期比△677百万円)・・・大型案件及び販売台数の減少
- 製袋自動包装機:490(前期比+237百万円)・・・販売台数の増加
- 包装関連機器等:1,250(前期比+438百万円)・・・大型包装システムの増加
- 保守消耗部品その他:910(前期比△111百万円)・・・高額件数の減少

IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況

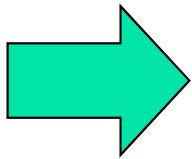
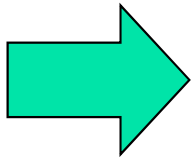
第3次中期経営計画(2012年7月期～2014年7月期)

◆中期経営ビジョン

1. 世界に信頼される包装機メーカー
2. 「なんとかしたい」にトップスピードで応えるトータルプランナー
3. 『創造と挑戦』のモノづくり企業

◆中期数値目標

第2次中計実績

| | 11/7期実績 | | 14/7期目標 |
|-----------------|----------|---|----------|
| 売上高経常利益率 | 5.9% |  | 4.5%以上 |
| ROA(総資産経常利益率) | 5.3% | | 4.5%以上 |
| ROE(自己資本当期純利益率) | 4.9% | | 4.0%以上 |
| | 11/7期実績 | | 14/7期目標 |
| 売上高 | 3,937百万円 |  | 4,400百万円 |
| 営業利益 | 225百万円 | | 195百万円 |
| 経常利益 | 232百万円 | | 200百万円 |
| 当期純利益 | 138百万円 | | 120百万円 |

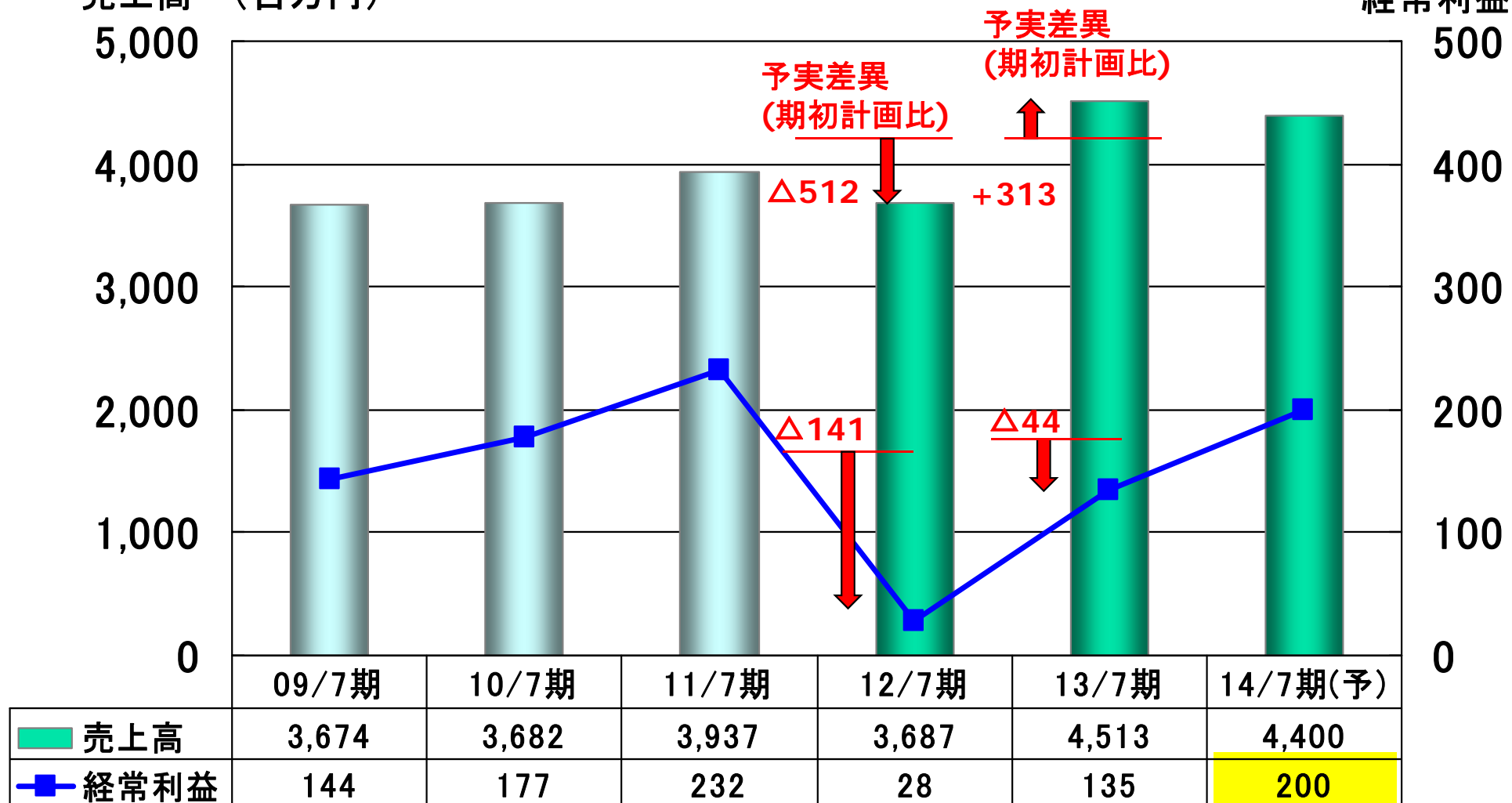
※14/7期目標は、13/9月に下方修正しています。

業績推移

第1期(12/7期)・第2期(13/7期)は、赤字案件の発生等により、経常利益は期初計画を達成できず最終期(14/7期)の計画達成を目指す

売上高 (百万円)

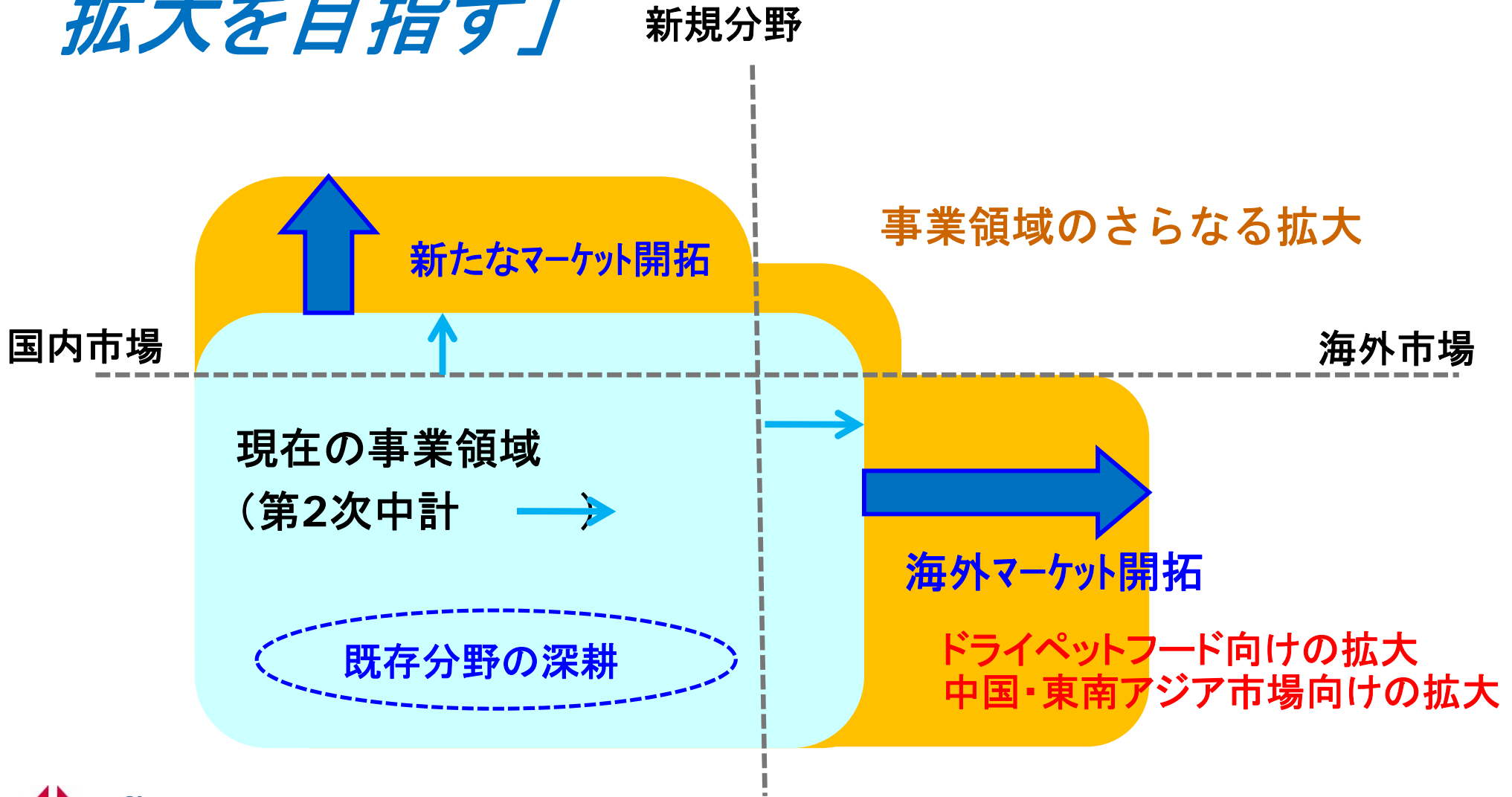
経常利益



← 第3次計画 →

基本戦略

「持続的成長に向けて事業領域のさらなる拡大を目指す」



事業計画モデル

| 売上高(単位:百万円) | 13/7期実績 (13/1期実績) | 14/7期 期初予想 | 14/1期 実績 | 14/7期 修正予想 | 修正理由 今後の見通し |
|--------------------|----------------------|---------------|-------------|---------------|--|
| 国内市場 (保守消耗部品含む) | 3,970 (2,123) | 3,700 | 1,738 | 3,830 | <ul style="list-style-type: none"> ・大型案件の受注が増加 ・堅調な見通し |
| 内トータルシステム | 842 (269) | 700 | 373 | 1,200 | <ul style="list-style-type: none"> ・大型システムの受注が増加 ・翌期は反動減の可能性有り |
| 海外市場 (海外部品含む) | 543 (216) | 700 | 251 | 570 | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア向けの受注が低迷 ・アジア市場の開拓活動を強化 |
| | 4,513 (2,339) | 4,400 | 1,989 | 4,400 | |

基本戦略

- ①顧客ニーズの積極的吸収と独創的な商品開発を推進し、ドライ分野のロータリー式自動包装機国内シェアNo.1を維持する
- ②安定的に海外市場向けの売上高比率15%以上の体制を目指す
- ③包装システムのトータルプランナーとしての提案力強化を図る
- ④事業領域拡大のための商品開発を強化する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装機とサービスを提供する
- ⑥事業・技術提携も視野に入れながら、事業領域の拡大を推進する

販売戦略

積極的な広告宣伝・販売促進活動

新規顧客の開拓 へ

■ 展示会出展を強化

※青字 当社での大型展示会の位置づけ

・14/7期上期

①13/10月 日本国際包装機械展(JAPAN PACK)

- ・スパウト袋対応給袋自動包装機 (ウェット分野)
- ・ロボット応用システム 等を展示

・14/7期下期計画

②14/4月 中部パック

③14/5月 interpack(ドイツ) --- パネル・ビデオ展示

④14/6月 国際食品工業展(FOOMA JAPAN)

⑤14/7月 Pro Pack China(上海) --- 1機種展示

包装システムの提案力強化

■ 高額システム(30百万円以上)の受注実績

| | 12/7期 | 13/7期 | 14/7期上期 |
|------|-----------|---------------|---------|
| 受注件数 | 3件 | 4件 | 5件 |
| 業種 | 食品(2件)、医療 | 食品(3件)、ペットフード | 食品(5件) |

システムの一部は、
資本業務提携先
ワイ・イー・データグループの
ロボット応用システムを提案

内3件は、大型案件(1億円以上)

販売戦略

新規顧客開拓の強化

■ 新規顧客・販路開拓の実績

※新たなマーケット:新方式包装機による開拓含む

| 受注実績ベース | 12/7期 | 13/7期 | 14/7期上期 |
|------------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| 新規顧客開拓数 | 25社 | 18社 | 26社 |
| 既存分野 (業種) | 19社 食品、健康食品、医療等 | 13社 食品、健康食品等 | 24社 食品、健康食品、化学等 |
| 新たなマーケット (業種) | 2社 酒造、海苔 | 0社 | 0社 |
| 海外マーケット (業種) | 4社 食品、ペットフード | 5社 食品 | 2社 食品、ペットフード |
| 新規販路開拓数 | 1社 | 2社 | 0社 |



■ 今後の主な取組み

- 展示会出展とネットPRによる見込み客数の増加
- 新たなマーケット・海外マーケットへの企画提案営業の強化

販売戦略

海外マーケット開拓

前年同期比 +235百万円
各市場とも増加

■機械受注実績

| | 12/7期 | 13/7期 | 14/7期上期 |
|--------|---------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| 機械受注高 | 543百万円 | 230百万円 | 325百万円 |
| アジア市場 | 355百万円 | 92百万円 | 104百万円 |
| 欧米市場 | 188百万円 | 138百万円 | 145百万円 |
| アフリカ市場 | — | — | 75百万円 |
| 受注台数 | 22台 | 10台 | 10台 |
| 輸出国 | タイ、台湾、マレーシア、 インドネシア、カナダ、 ポーランド等 | タイ、台湾、ベトナム、 ポーランド、ブラジル | ベトナム、インド、台湾、 中国、アメリカ、 ナイジェリア等 |

<下期>
アジア市場の
増加を目指す

■今後の主な取組み

- 中国市場の販売チャネル拡大と営業活動の強化
- 海外展示会出展によるPR活動とペットフード向けの受注活動

開発・技術戦略

■ 開発機種数・研究開発費 第3次中計 每期3機種以上

| | 12/7期 | 13/7期 | 14/7期上期 |
|------------|-------|-------|---------|
| 開発機種数 | 3 | 7 | 0 |
| 研究開発費(百万円) | 163 | 213 | 93 |

シーズとニーズの両面からの開発を推進中

| ■ 開発実績 | | 販売台数 | | |
|---------|----------------|-------|-------|---------|
| 開発時期 | 対象分野・機種数 | 12/7期 | 13/7期 | 14/7期上期 |
| 12/7期開発 | 既存分野向け 1機種 | 1 | 1 | 0 |
| | 新たなマーケット向け 2機種 | 3 | 0 | 0 |
| 13/7期開発 | 既存分野向け 5機種 | — | 6 | 3 |
| | 新たなマーケット向け 1機種 | — | 1 | 0 |
| | 海外マーケット向け 1機種 | — | 1 | 0 |

※新たなマーケット向け;酒造、海苔、介護用食品
海外マーケット向け;ペットフード

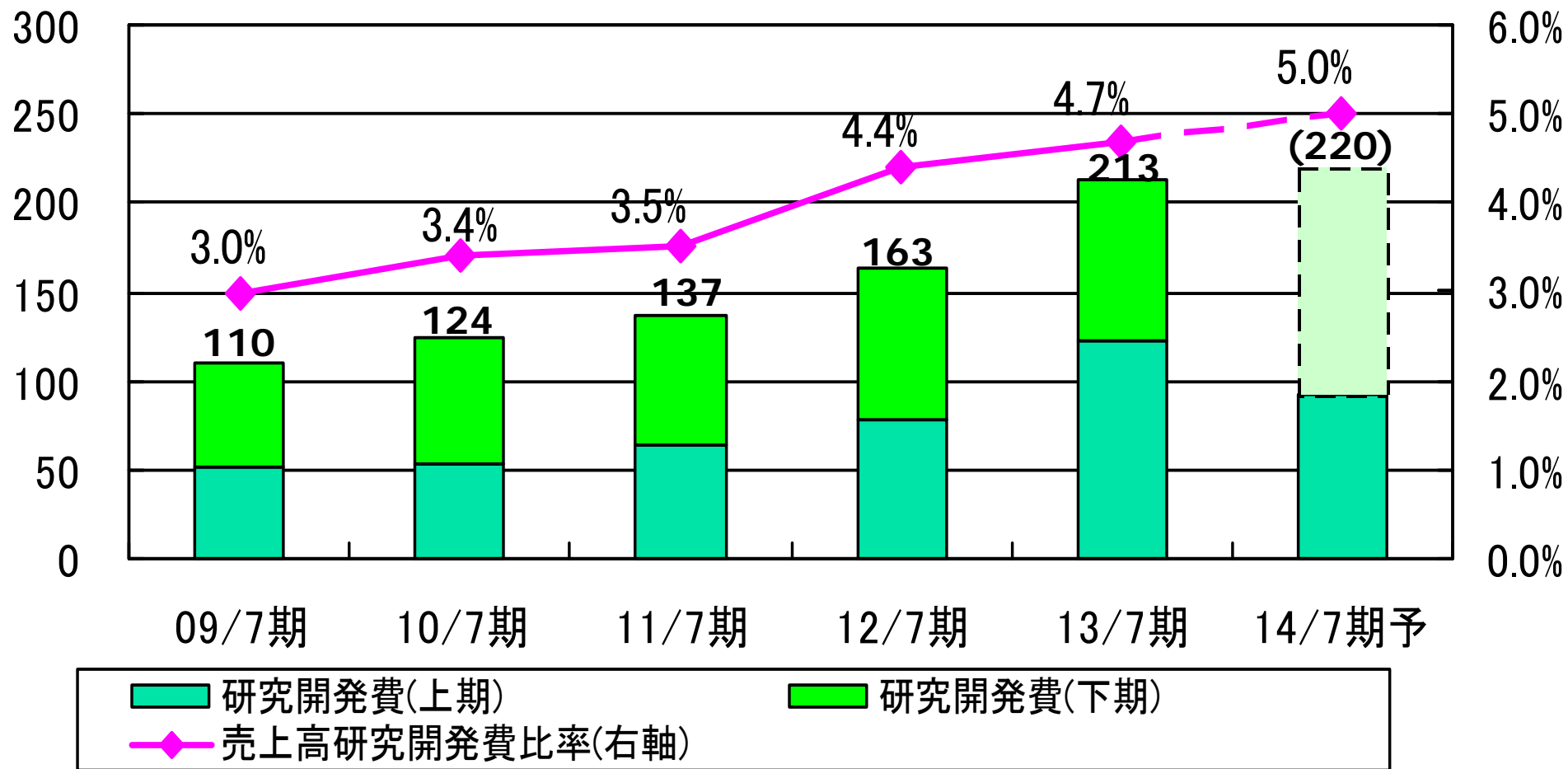
新機種の拡販

受注残 1台

研究開発費

開発部人員の強化、開発テーマの増加等により、
売上高研究開発費比率は、14/7期は5%の計画

百万円



※研究開発費の内訳;約5割が人件費

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

企業数 約420社(専門メーカー 約240社)

中小企業が約9割

| 機種別 | 生産高 |
|----------------|--------------|
| 個装・内装機械 | 3,260 |
| 包装用計量機 | 196 |
| 充てん機 | 389 |
| びん詰機械 | 566 |
| 製袋充てん機 | 594 |
| 真空包装機 | 108 |
| その他 | 1,404 |
| 外装・荷造機械 | 603 |
| ケース詰機 | 132 |
| その他 | 471 |
| 合計 | 3,864 |

需要先別構成比

- ・食品部門 51.0%
- ・化学部門 18.7%
- ・その他 20.6%
- ・輸出 9.7%

主な上場企業

専門メーカー:東京自働機械製作所
兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

- ・高品質・高難易度の包装分野
- ・チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

- ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
※ナブテスコ連結子会社
- ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

(一社)日本包装機械工業会
「包装機械及び荷造機械生産高統計」
2012年度実績

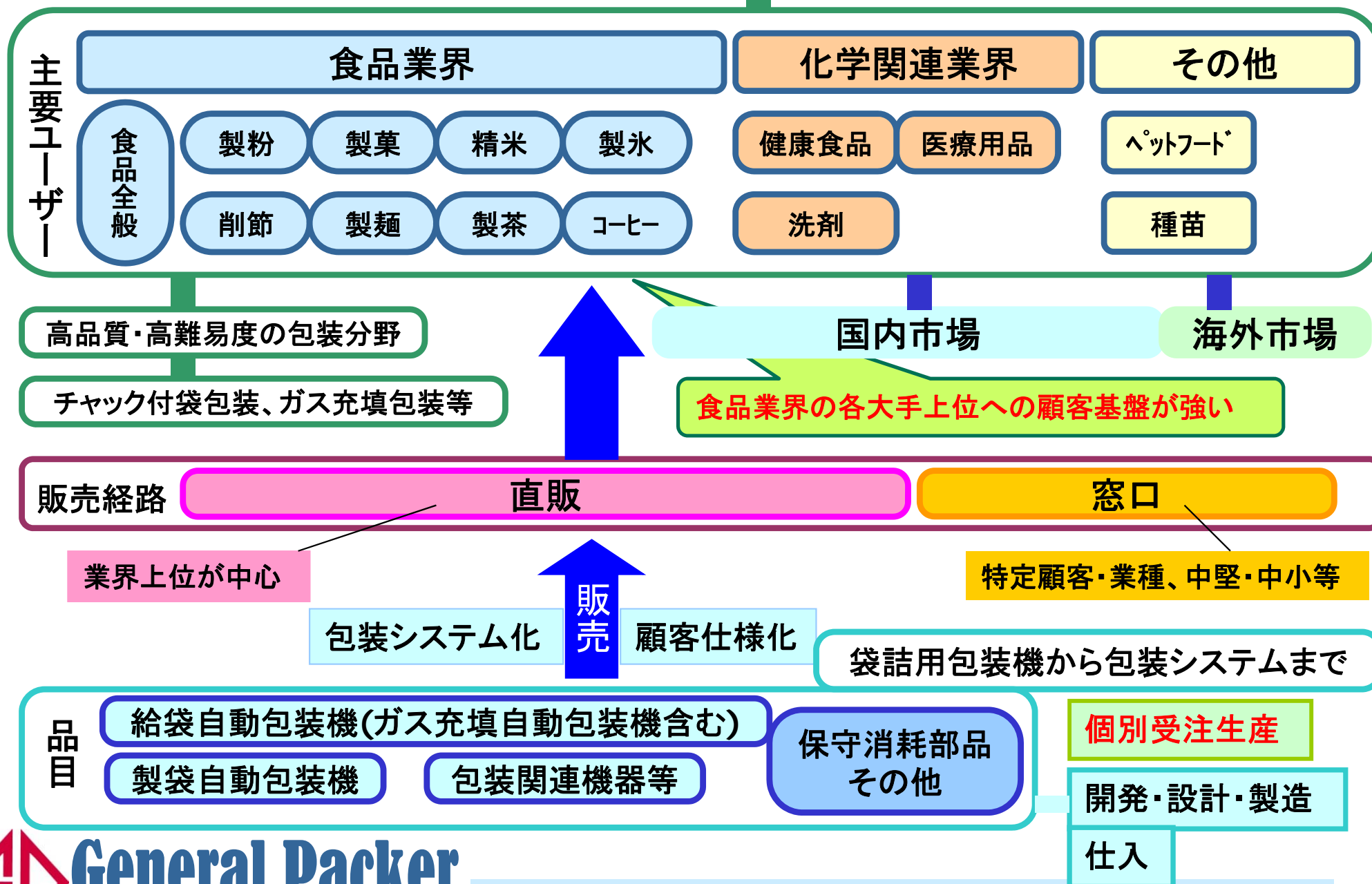
会社概要(2013年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 124名(その他臨時雇用者19名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部

証券コード;6267
JASDAQ・名証二部

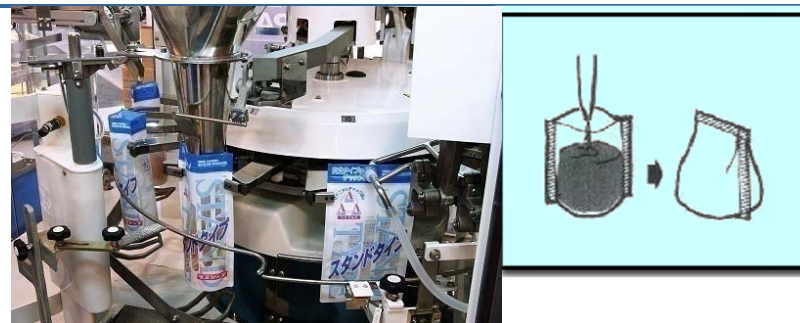
事業内容

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装用機械・システム



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋 → 給袋装置 充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

ガス充填自動包装機

袋 → 給袋装置 充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

製袋自動包装機

フィルム → 製袋装置 充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

包装関連機器等

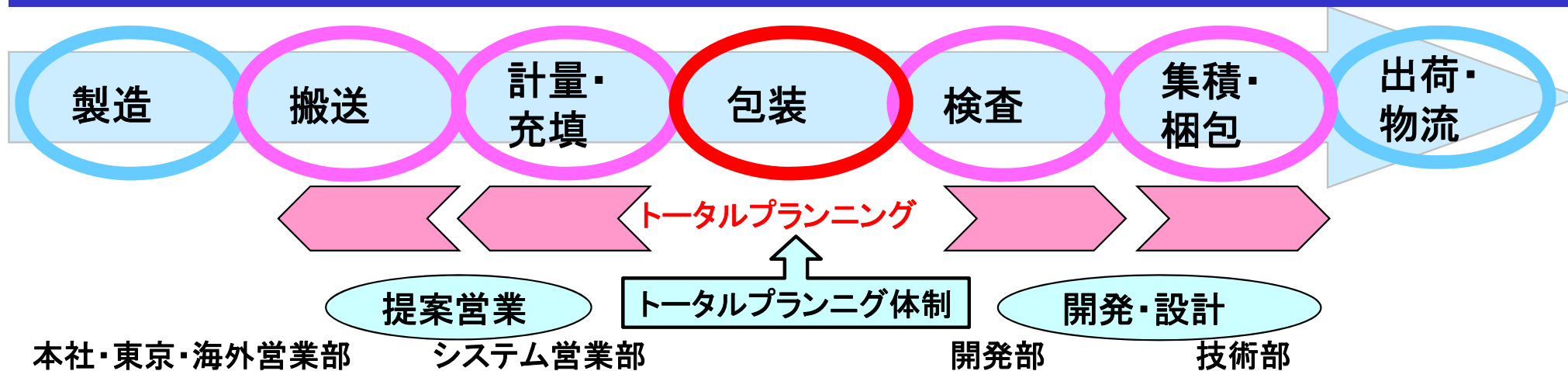
付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、
段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、
印字機、検査装置等の取付・改造等

(経営ビジョン)

「なんとかしたい」にトップスピードで応えるトータルプランナー



『創造と挑戦』のものづくり企業

人員推移

| | 09/7期末 | 10/7期末 | 11/7期末 | 12/7期末 | 13/7期末 | 14/1期末 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 従業員 | 109 | 114 | 119 | 123 | 124 | 124 |
| (内 開発・技術部人員) | (27) | (28) | (32) | (34) | (38) | (38) |
| 臨時雇用者※ | 25 | 24 | 21 | 18 | 19 | 19 |
| 合計 | 134 | 138 | 140 | 141 | 143 | 143 |

※パート、嘱託、派遣

| | | |
|---------|-------|-------|
| 従業員平均年齢 | 36.1歳 | 36.7歳 |
|---------|-------|-------|

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

| | 2011/7期 | 2012/7期 | 2013/7期 | 2014/7期予想 |
|---------|-------------------|---------|---------|-----------|
| 中間配当 | 3.50円 | 3.50円 | 3.50円 | 3.50円 |
| 期末配当 | 4.50円 (記念配当1円) | 3.50円 | 3.50円 | 3.50円 |
| 年間配当 | 8円 | 7円 | 7円 | 7円 |
| 当期純利益／株 | 15.83円 | 0.88円 | 10.34円 | 13.50円 |
| 配当性向 | 50.5% | 791.8% | 67.7% | 51.8% |
| DOE | 2.4% | 2.2% | 2.2% | 2.2% |

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川
〒481-8601
愛知県北名古屋市宇福寺神明65
電話：0568-23-3111
FAX：0568-22-3222
E-mail：info@general-packer.co.jp

